

「そのとおりに！！」

～エバンゲリオン（福音＝GOOD NEWS）のみを聞き分けよ！！～ ルカ 5：2～8

神様はあなたにまだ目で見ていないもの、経験していないものを理解させる為に、今までのあなたの知識や知恵に基づいて、それはすなわちあなたが学んできた御言葉に立ってあなたに信仰と勇気を与えます。同じように悪魔もあなたに関わって、あなたが新しい道に踏み出そうとする時に同じように目から入る情報で、それが出来ない！と結論づけるようにさせる訳です。これが GOOD NEWS（良い知らせ）と BAD NEWS（悪い知らせ）です。あなたがどちらを選ぶかです。

■ そのとおりに！！

エバンゲリオン（福音＝GOOD NEWS）のみを聞き分けよ！

エバンゲリオンとはイエス・キリストの犠牲による祝福の言葉です。それを選ばなくてははいけません。私たちの心の中には悪い言葉と良い言葉がいつも聞こえています。そのどちらを選ぶか、その決断を決定的にさせるものが価値観です。3回にわたってこのペテロの記事（ルカ 5：2～8）から学んでいます。ペテロというのはこの劣等感の塊です。その日暮らした漁師で大変な生活です。人々から見下され、ガリラヤ湖のほとりで生活をしていました。ガリラヤ湖は岩場と荒地で大変な所です。彼らの頼りは自分の腕、自分の知恵、今までの経験、自分の価値観が全てです。ガリラヤ湖の魚は淡水魚ですから夜寝ている魚を狙い撃ちする訳です。だから「夜通しとった」（ルカ 5：5）と書いてあります。ところが1匹も来ない。そこでイエス様が現れました。確かにいい話をする…とは言え自分たちは何十年もそれで生きている訳だから自分の価値観のほうが優先です。だから「先生、私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。」と言葉が出ました。「でもおことばどおり、網をおろしてみよう」（ルカ 5：5）この言葉は、ペテロがペテロになれた素直さだと思います。「そのとおりにすると」（ルカ 5：6）というのが大切です。

■ 1 心の噂話を退ける

GOOD NEWSのみ

人は、目の前に起きた環境や現状を見てもすぐ噂話をします。心の噂話はあなたをダメにします。ペテロにもあったはず。あなたの耳元で語られる情報に基づいて決断しています。私たちは大事なことから目を離してしまうことが沢山あります。「怒ることをやめ、憤りを捨てよ。腹を立てるな。それはただ悪への道だ」（詩 37：8）と書いてあります。誘惑に負けるなど言われています。「愚かな者は、自分のそむきの道のため、また、その咎のために悩んだ。彼らのたましいは、あらゆる食物を忌みきらひ、彼らは死の門にまで着いていた。この苦しみのときに、彼らが【主】に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救われた。主はみことばを送って彼らをいやし、その滅びの穴から彼らを助け出された。」（詩篇 107：17～20）心の噂話に進む人は、自分のそむきの道のため、また、その咎のために悩んでいる状態です。「お前には出来ない」という言葉に私たちは目を向けてしまうと「死の門にまで着いて」とあり、残されたものは心の死です。でも神様に向かって叫ぶと「主は彼らを苦悩から救われたのです。」「夜通し働きましたが」ペテロがそうやってイエス様に話しかけた時に、イエス様がどんな顔をしていたかを想像してください。「でもおことばどおり…という決断にペテロが促されるような神様の顔…イエス様の顔は自信に満ちてたのだと思います。何か新しいことを始めようとする時には誰だって怖さがあります。だけれど隣にいるイエス様は自信に満ちて肩をポンポンと「大丈夫、私が一緒にいるではないか」と言われます。それはヤコブ、アブラハムに約束されたことです。「あなたがどこへ行くにも、あなたと共におり」「あなたに与える（歴代誌 17：8、サムエル 17：9）と言われたのだから絶対出来るのです。

■ 良い知らせは御言葉の中に！！

良い知らせがないと噂話にとことんやられてしまいます。聖書の御言葉はロゴス（＝知識）という言葉です。でも知識だけ、御言葉を覚えているだけでは何の意味もありません。これが自分の力だという気持ちで聖書を読むと、それは「ロゴス」と「レーマ」という力になります。「ロゴス」はみなさんの中に堆積されています。土の中にある栄養みたいなものです。そこに神様の御言葉の種、あなたに志が与えられると、その種が今神様が天国であなたのただなかに語られる「レーマ」の言葉によって生きるのです。太陽みたいなのです。神様の言葉が、土壌にもともと蒔かれている栄養に力を与えます。しかし、聖書の言葉があなたになかったら、どれだけ神様が天国から素晴らしい言葉で語っても分かりません。だから私たちは聖書をちゃんと読んで、チャンスが訪れた時には力になるように「ロゴス」として蓄えておかなければ

はいけません。

■ 2 あなたの価値観（罪）を憎しみ、悲しみ、退ける

心の声はあなたに決断を促します。価値観は罪です。洗礼時「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」（コリント 2：17）「もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。」（ガラテヤ 2：20）と言いながら、古い価値観に生きようとしたら、過去に起きたそのマイナスな出来事で私たちは傷つきます。本来なら神様の前に出てペテロの様に「悲しかった」と言えれば良かったのです。ところが言わず怒りに変え、今日からもう自分はこう生きようとしたのです。その時の決断があなたをダメにし、価値観になっているのです。その傷ついて悲しいあなたの痛みを取り去る為に、イエス様は十字架で一人背負ったのです。「正しい道を捨てる者には厳しい懲らしめがあり、叱責を憎む者は死に至る。よみと滅びの淵とは主の前にある。人の子らの心はおさらのこと。あざける者はしかってくれる者を愛さない。知恵のある者にも近づかない。心に喜びがあれば顔色を良くする。心に憂いがあれば気はふさぐ。悟りのある者の心は知識を求めるが、愚かな者の口は愚かさを食いあさる。悩む者には毎日が不吉の日であるが、心に楽しみのある人には毎日が宴会である。」（箴言 15：10～15）とあります。叱られた子どもは正しく生きることが出来ます。しかし、甘やかされて叱られたことのない子どもは真直ぐ生きることが出来ません。バプテスマのヨハネは「悔い改めにふさわしい実を結びなさい。（マタイ 3：8）と言われました。「人を憎まず罪を憎め」（ヨハネ 7：53～8：11）と教えています。あなたが頑張って向きを変えた時、耐え忍ぶ時、神様はあなたを通してあなたに与えられた計画を成し遂げようとしているのです。その結果、あなたも幸せに祝福されるのです。

■ 3 本当のニューデール政策（新しい種）恐れ、不安を締め出せ！！

神様はあなたに「この種を蒔きなさい」と伝えていきます。御言葉の種です。あなたを創造しあなたをよしとされた姿に戻り、今までとは違う癖を捨てて新しい種を蒔くのです。今までと違う決断をして初めてその種が実になるのです。イエス様は十字架で血のにじむ汗を出してあなたの為に耐えたのです。本当にあなたを愛しているのです。傷つけられたら何倍にしてやり返すことを、イエス様はよしとはしていません。「あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい」（マタイ 5：39）あなたが受ける痛みを全部引き受けて、あの鉄のムチに打たれたのです。「人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ。よく聞かないうちに返事をする者は、愚かであって、侮辱を受ける。人の心は病苦を忍ぶ。しかし、ひしがれた心にだれが耐えるだろうか。悟りのある者の心は知識を得、知恵ある者の耳は知識を求める」（箴言 18：12～15）とあります。よく聞かないうちに返事をしてしまうこと、これが感情です。確かに刃を持って向かってくることがあるかもしれない、だけれどそれは感情の表れであって本心はそうではないのです。それを理解し、よく相手の心を聞いて受け止め、正しい答えを表さなければいけません。「人の心は病苦を忍ぶ」力があります。病氣も忍べるのです。うちひしがらせるのが心の噂です。人の声が悪く聞こえ始めたなら、あなたの心はうちひしがれています。あなたの価値観が物事を壊してしまふ。これは勿体ないです。「悟りのある者は心に知識を得、知恵ある者の耳は知識を求める」とあります。是非、神様に知恵を求めて神様の言葉を聞きましょう。

まとめ

今まで選んできた種ではない新しい種を蒔かなければいけません。良い種を持って良い地に種を蒔けば「三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ」（マタイ 13：8、マルコ 4：7）とあります。主は「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。（イザヤ 43：19）あなたが行うならそうなります。古い価値観を取り去ってくださいとイエス様に祈りましょう。

（要約者：西寄 芳栄）